

【別紙様式1】

平成27年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	93		学校名	茨城県立坂東総合高等学校						課程	全日制		学校長名	塙 隆 之			
教頭名	山中 孝男												事務(室)長名	松並 善市			
教職員数	教諭	29	養護助教諭	1	常勤講師	7	非常勤講師	2	実習教諭・実習講師・実習助手	5	事務職員	5	技術職員等	6	計	55	
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	総合学科	42	52	45	48	40	45			127	145	9					

2 目指す学校像

- (1) 一人一人の生徒を大切にし、きめの細かい指導を行う。
 (2) 一人一人の生徒の目標意識のもとに、個性を伸ばし生徒の自己実現を図る。
 (3) 地域に開かれ、地域と連携し社会に貢献する学校を目指す。
 (4) よりよい自然環境、生活環境に配慮する学校を目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現状分析	課題
教科指導	生徒間の学力差が比較的大きく、学習意欲にやや差が見られる。個々の理解に応じたきめ細やかな指導により、意欲的に学習に取り組む生徒が増えてきた。	TT授業や習熟度別学習を充実させる。研究授業などの内部研修を充実し、分かる授業の工夫を図る。選択科目の内容を充実させ、生徒の興味関心を引き出す。
生徒指導	全職員による徹底したきめ細やかな指導により服装・頭髪等の乱れは少なくなった。交通事故も減少した。心の悩みを抱える生徒がやや増えている。	公衆道徳やマナー教育、交通安全教育を充実させる。非行防止教育を徹底する。スクールカウンセラーの十分な活用を図る。
進路指導	明確な目標を持って努力する生徒と就業意識の低い生徒がいる。自分の身につけた知識・技能を将来に活かそうとする意識がやや低い。	好転しつつある雇用状況の中であるが、就職先の確保と内定率の向上に努める。家庭との緊密な連携を図り、生徒の将来設計に基づく、進路実現を達成する。
特別活動	部活動の参加生徒が少ないため、団体種目の各種大会への出場が少ない。リーダー的存在の生徒が育っていない。	部活動の指導体制を充実させ活性化を図る。生徒会並びにホームルーム活動を通して、リーダー教育の強化を図る。

4 中期的目標

- (1) 魅力と活力に満ちた学校となり，地域に信頼され，地域に貢献する学校となる。
- (2) (1) の実行の結果，募集定員を満たす志願者の増加に繋げる。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
学力の向上	① 授業時間数と授業時間を確保する ② わかる授業を展開する ③ 授業方法に関する研究を推進し，学習に取り組む意識を高める工夫をする
基本的な生活習慣の確立	④ 遅刻・服装頭髪指導の定着を図る ⑤ 挨拶の励行，規則の遵守やマナーの向上を推進する
教育相談の充実	⑥ 心の健康を大切にし，生徒の心の悩みを解決するために教育相談を充実させる
特別活動の活性化	⑦ 部活動に意欲的に取り組み，継続した活動を行う ⑧ HR活動・生徒会活動・学校行事の活性化を図る
進路指導の充実	⑨ 個別面談を充実させ，進路意識を高め生徒の進路希望の実現を図る ⑩ 総合学科の学習やインターンシップの実施により，進路意識の高揚を図る
地域との連携・交流の推進	⑪ 農業施設・設備を生かして，開放講座などの実施により，地域からの信頼を確保する